

福井大学市民公開シンポジウム

# 放射線医学最前線

— 医療と環境負荷 —

福井県は、陽電子断層撮影(PET)装置によって多くの業績を上げている福井大学や、陽子線がん治療装置の実用化に向けた研究を進めている(財)若狭湾エネルギー研究センターを抱える放射線医学の先進地域である。本シンポジウムでは、それら最先端放射線医学の現状と将来像を示した上で、そこで生じる環境負荷とどのように向き合うべきかについて議論し、最先端医療と環境保全活動の相互理解を深めることを目的とする。

日時 平成20年 **10月11日(土)** 午後1時から4時まで

会場 **福井大学 アカデミーホール** (文京キャンパス)

## スケジュール

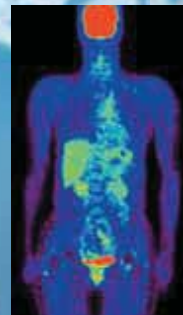
●開会挨拶 福井大学学長 福田 優

●講演1 「最新放射線診断技術 —診断と環境負荷—」  
福井大学高エネルギー医学研究センター准教授 工藤 崇 博士

●講演2 「陽子線がん治療 —治療と環境負荷—」  
若狭湾エネルギー研究センター粒子線医療研究室室長 山本 和高 博士

●パネルディスカッション  
「医療と環境負荷」

●閉会挨拶 福井大学医学部教授 日下 幸則



主催:福井大学 後援:福井県